

第7期地域会議委員 アンケート調査集計結果

実施目的： 地域会議等の組織体制に関する課題を明らかにする。

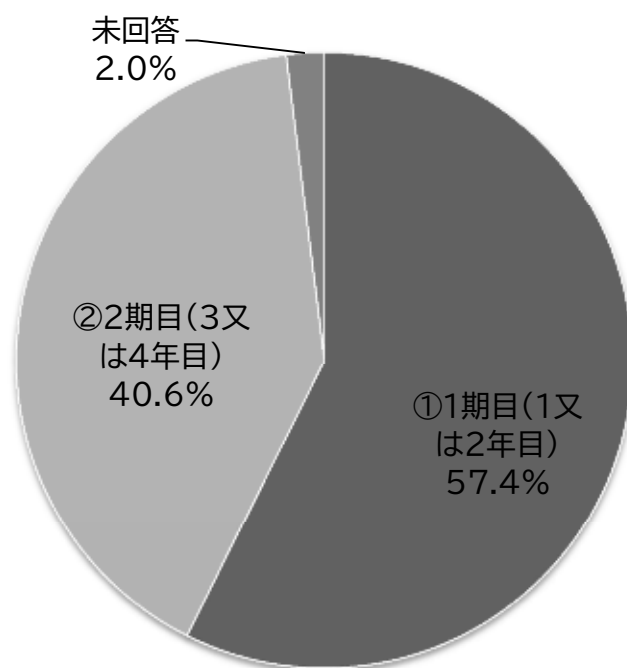
実施期間： 令和2年（2019年）2月6日（木）～2月26日（水）

対象者： 第7期（2018年～2019年）地域会議委員（500名）

回答者数： 401名（回答率80.2%）

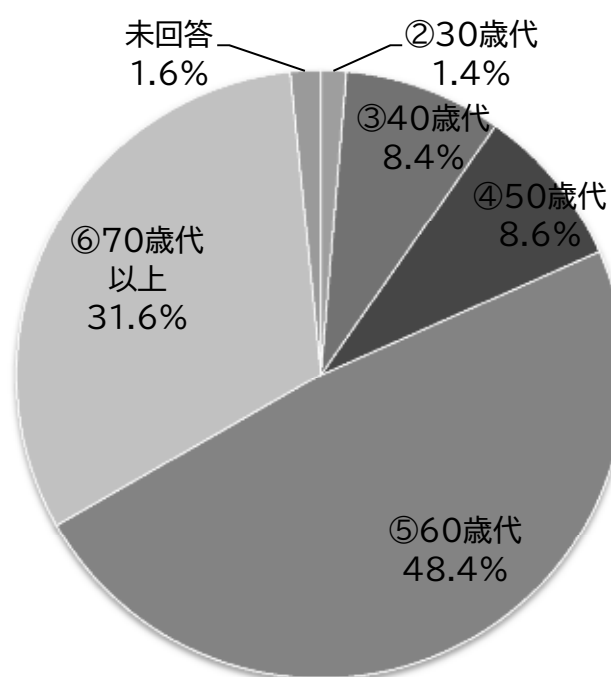
【属性1】地域会議の経験年数

①1期目（1又は2年目）	230
②2期目（3又は4年目）	163
未回答	8



【属性2】年齢

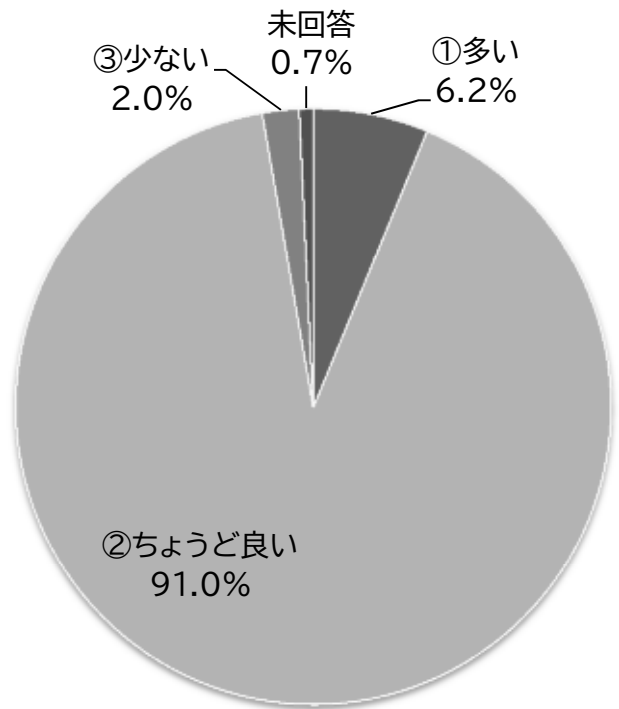
①20歳代	0
②30歳代	5
③40歳代	34
④50歳代	38
⑤60歳代	194
⑥70歳代以上	124
未回答	6



<単純集計>

問1 地域会議委員の定数（20名以内）は、活発な協議を行う上でどのように感じますか。
（①・③の場合、理由もあわせてお答えください。）

①多い	25
②ちょうど良い	365
③少ない	8
未回答	3



【「多い」の主な理由等（要約）】

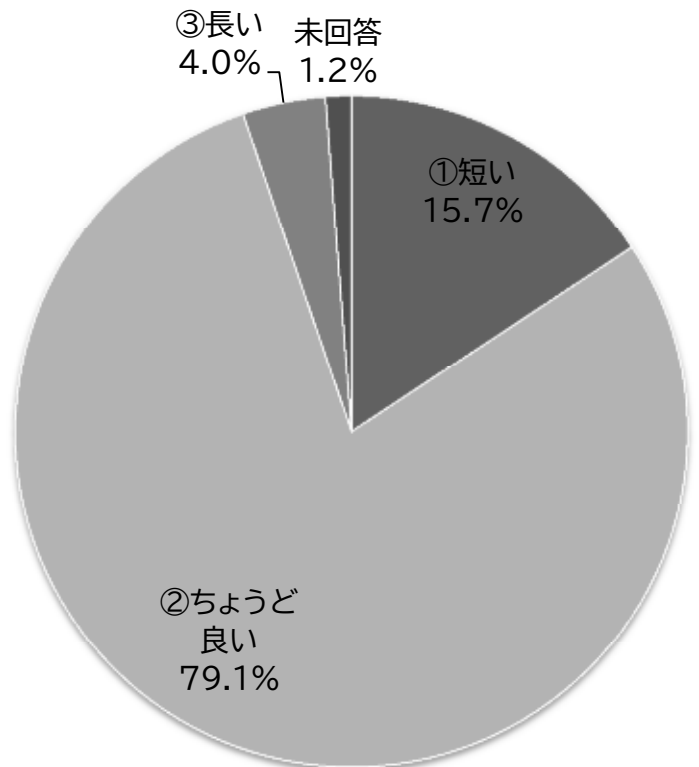
- ・発言のない委員がいる。
- ・活発な議論のためには、10名程度が理想。
- ・多すぎて意見がまとまらない。

【「少ない」の主な理由等（要約）】

- ・もっと多くの意見を聞く必要がある。
- ・部会を編成する場合には、もっと多くても良い。

問2 地域会議委員の任期（1期2年で連続2期まで）は、地域予算提案事業の立案や実施を行う上で、どのように感じますか。（①・③の場合は理由もあわせてお答えください。）

①短い	63
②ちょうど良い	317
③長い	16
未回答	5



【「短い」の主な理由等（要約）】

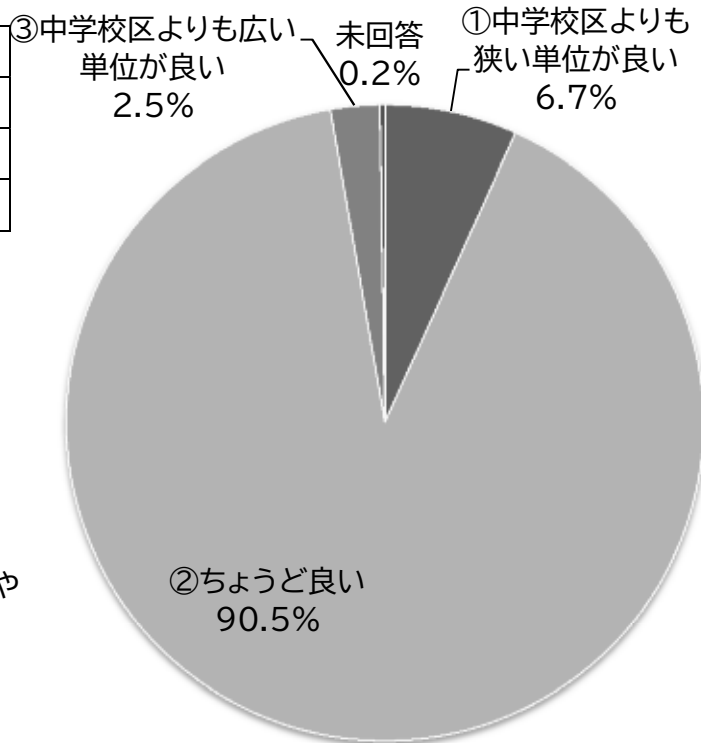
- ・4年では事業の立案から実施まで見届けることができない。
- ・1期目のみでは、地域会議委員の役割等を理解することが難しい。
- ・1期3年が良いのでは。
- ・最低4年は必要。
- ・やる気のある人は続けられるよう再任制限をなくしては。

【「長い」の主な理由等（要約）】

- ・多くの人に経験してもらわなければならない。
- ・委員が固定化するのはよくない。
- ・現役世代は引き受けにくい。

問3 地域の様々な意見を集め、地域課題を話し合うにあたって、地域会議の設置単位（中学校区）は、どのように感じますか。（①・③の場合、理由もあわせてお答えください。）

①中学校区よりも狭い単位が良い	27
②ちょうど良い	363
③中学校区よりも広い単位が良い	10
未回答	1



【「狭い単位」の主な理由等（要約）】

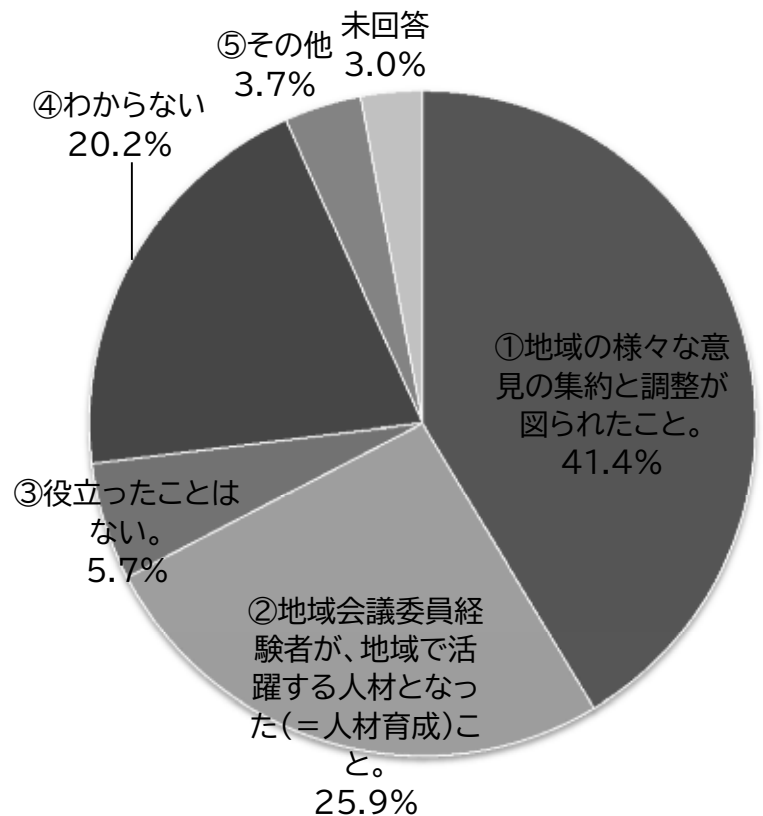
- ・中学校区内でも各町の状況が違うので、意見がまとまらない。
- ・地域差が大きく課題設定が難しい。
- ・地域住民にとって身近でない。理解や参加者増加に結び付かない。
- ・小学校区単位程度が良い
- ・会議は中学校区でも良いが、課題選定や実行は小学校区が良い。

【「広い単位」の主な理由等（要約）】

- ・個々の課題は自治区に任せるべき。

問4 地域会議は、本アンケート表紙に記載の内容を目的として設置されていますが、実際にあなたの地域に対してどのような面で役立ったと感じますか。あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。

①地域の様々な意見の集約と調整が図られたこと。	166
②地域会議委員経験者が、地域で活躍する人材となった（＝人材育成）こと。	104
③役立ったことはない。	23
④わからない	81
⑤その他	15
未回答	12

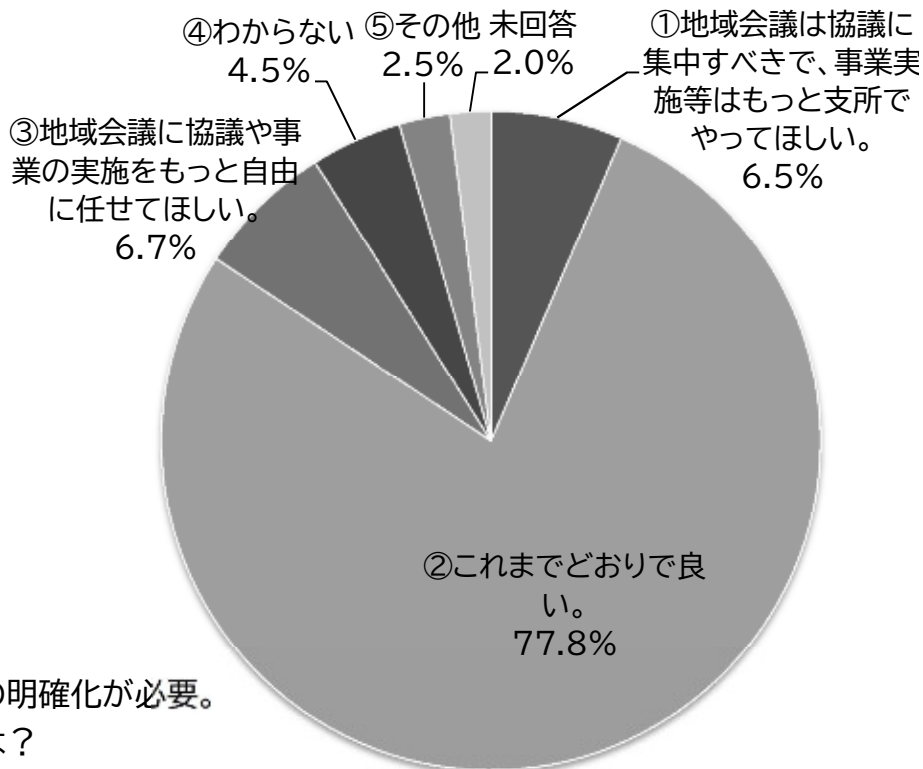


【その他（主なもの）】

- ・地域の課題に対して、真剣に話し合う機会がもてたこと。
- ・地域資源に対する認識が高まったこと。
- ・地域づくりの必要性の認識が高まった。
- ・地域の人をつながりを作ったこと。

問5 地域会議と事務局（支所）が協力して地域課題へ取り組んでいくにあたっての役割分担について、どのように感じますか。あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。

①地域会議は協議に集中すべきで、事業実施等はこちらでやってほしい。	26
②これまでどおりで良い。	312
③地域会議に協議や事業の実施をもっと自由に任せてほしい。	27
④わからない	18
⑤その他	10
未回答	8



【その他】

（地域会議委員への意見）

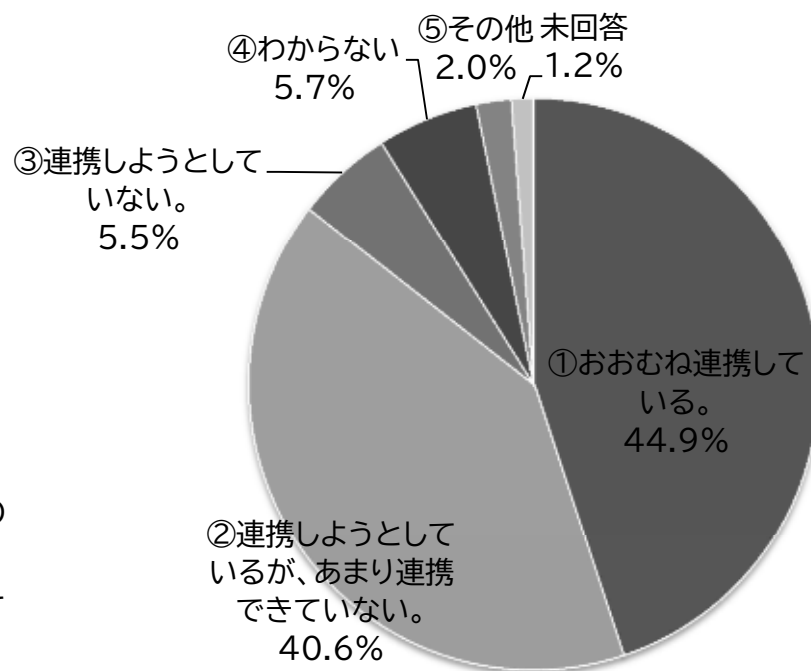
- ・ 地域会議と事務局の役割分担の明確化が必要。
- ・ 事務局がおぜん立てしすぎでは？
- ・ 地域会議委員の主体性が乏しい。
- ・ ③が望ましいが、地域会議委員にそこまで求められるか不明。

（支所への意見）

- ・ 事務局が機能しているとは思えない。事務局は不要。
- ・ 支所は地域の支援者ではなく、リーダーシップ発揮を望む。

問6 地域会議が活動する上で、地区コミュニティ会議や自治区等の地域の団体との連携は、必要不可欠ですが、あなたの地域では、連携が行われていると感じますか。あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。

①おおむね連携している。	180
②連携しようとしているが、あまり連携できていない。	163
③連携しようとしていない。	22
④わからない	23
⑤その他	8
未回答	5



【その他（主なもの）】

- ・ 地域会議とコミュニティ会議の相違点が明確でない。
- ・ 自治区が地域会議を必要としないように感じる。

問7 地域会議が、協議等をする上で、足りていないと感じるものはありますか。
あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。

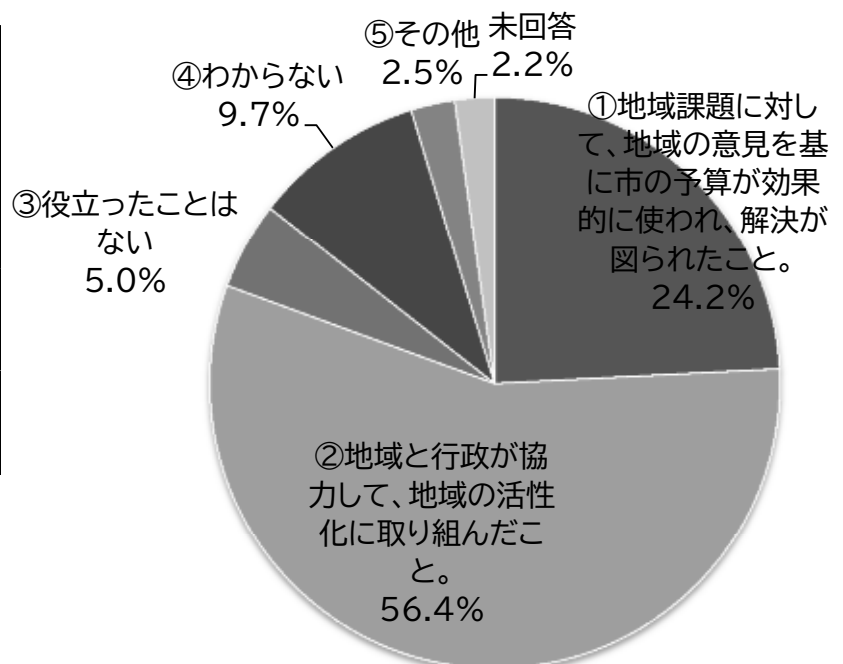
①地域会議で考えた事業の実施に協力してくれる組織や人材	41.1%	165
②地域会議の運営・協議の効率化	20.4%	82
③地域会議の認知度	74.8%	300
④支所以外の市の課の協力	20.7%	83
⑤地域会議委員のやる気ややりがい	24.2%	97
⑥特になし	2.2%	9
⑦その他	7.7%	31

【その他（要約）】

- ・最先端の事例や知識を支所（事務局）と委員が学びあうことが不足している。
- ・委員の資質向上の為研修（勉強会）を定期的に行うことが必要
- ・話し合いの進み方が遅い、時間が足りない。
- ・地域会議と自治区（区長会）、コミュニティ会議との情報の交換
- ・協議テーマが大きすぎて、身近でない。
- ・ファシリテーション力。ファシリテーターが必要。
- ・あて職、やらされ感のある委員が多いこと。

問8 地域予算提案事業は、本アンケート表紙に記載の内容を目的として運用されていますが、この制度は、あなたの地域に対してどのような面で役立ったと思いますか。
あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。

①地域課題に対して、地域の意見を基に市の予算が効果的に使われ、解決が図られたこと。	97
②地域と行政が協力して、地域の活性化に取り組んだこと。	226
③役立ったことはない	20
④わからない	39
⑤その他	10
未回答	9



【その他（主なもの）】

- ・まちづくりプランを立てられた。

問9 地域予算提案事業を協議検討する上で、難しい（又は不満）と感じることはありますか。
あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。

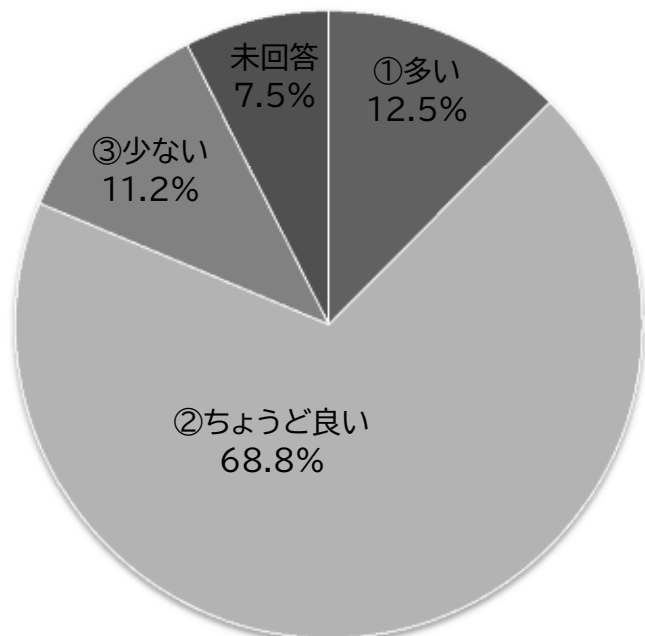
①市の予算スケジュールまでにまとめることが難しい。	30.4%	122
②そもそも何が予算として要求できるのかわからない。	30.4%	122
③課題が分かっているが、地域予算提案事業では解決できない。	37.2%	149
④会議で活発に議論されていない、あるいは一部の意見が反映されている。	19.2%	77
⑤事務局が案を作っており、地域会議の提案になっていない。	12.5%	50
⑥特になし	14.7%	59
⑦その他	10.7%	43

【その他（主なもの）】

- ・地域会議委員だけでは、ノウハウや知識は不足しており、計画を作り切れない。
- ・解決すべき切実な課題がなく、無理に課題抽出していると感じる。
- ・なんとなく支所のルール（想い）の上でやっていると感じる。
- ・地域内で地域差があり、地域課題を選定することが難しい。
- ・各自治区等の事業と重複している。
- ・行政がやるべき部分と地域がやるべき部分の線引きが分からない。

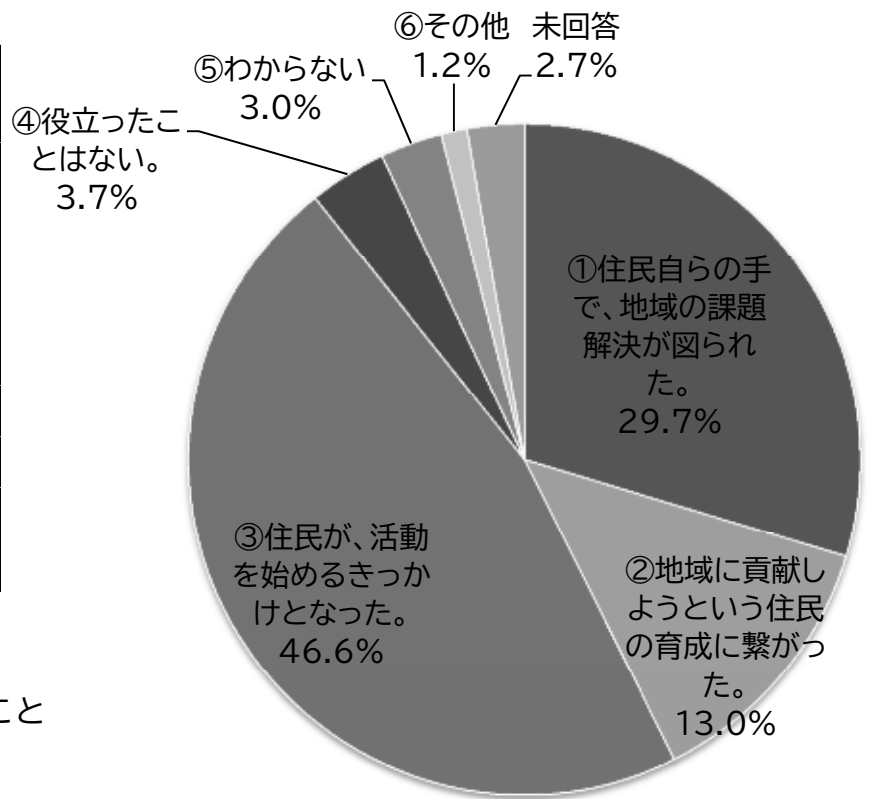
問10 地域予算提案事業における、1地区あたり上限2,000万円の予算規模についてどのように感じますか。あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。

①多い	50
②ちょうど良い	276
③少ない	45
未回答	30



問1 1 わくわく事業は、本アンケート表紙に記載の内容を目的として運用されていますが、この制度は、あなたの地域に対してどのような面で役立ったと思いますか。
あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。

①住民自らの手で、地域の課題解決が図られた。	119
②地域に貢献しようという住民の育成に繋がった。	52
③住民が、活動を始めきっかけとなった。	187
④役立ったことはない。	15
⑤わからない	12
⑥その他	5
未回答	11

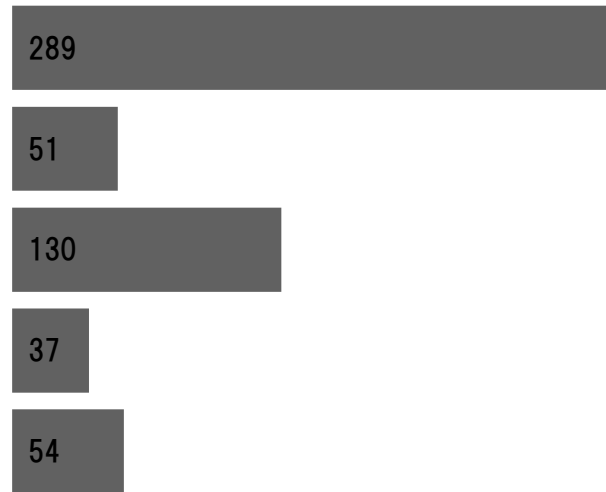


【その他（主なもの）】

- ・補助により自己負担が減ったこと
- ・地域の活性化につながった。

問1 2 わくわく事業の審査をする上で、難しい（又は不満）と感じていることはありますか。
あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。

①活動内容によっては、自立を求めることが難しい団体がある。	72.1%
②審査の項目が細かい、あるいは不足していること。	12.7%
③申請団体も、同じ地域住民であるので低い評価をつけにくいこと。	32.4%
④特になし	9.2%
⑤その他	13.5%



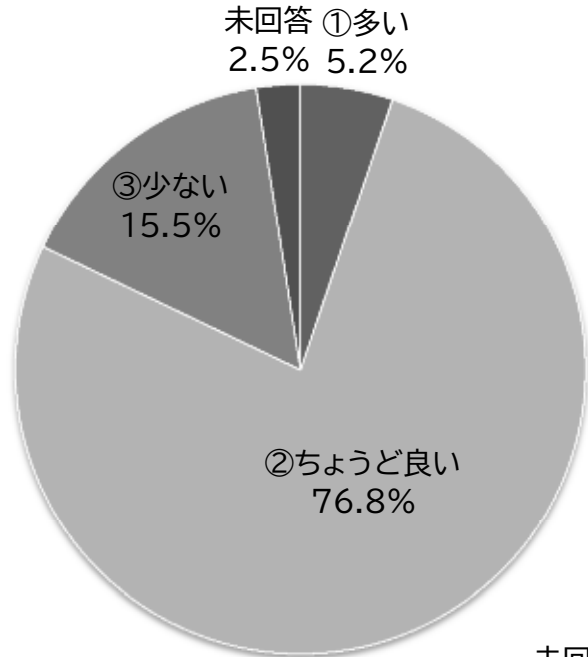
【その他（主なもの）】

- ・団体の活動結果、目的、目標の達成度が分からない。前年との比較が必要。
- ・補助をあてにして、自立する気持ちが薄い。
- ・地域のために素晴らしい活動をしている。3年の枠は不要。
- ・審査が個人の感覚、力量に左右されていると感じる。また、審査時間が短い。
- ・自立は難しいが、継続すべきという性質の団体をずっと応援できるようにしてほしい。
- ・自治区等の既存の行事の代替と思われるものが見受けられる。

問13 わくわく事業における、補助率／1団体あたりの補助上限／地区の予算についてどう思いますか。項目ごとに、あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。

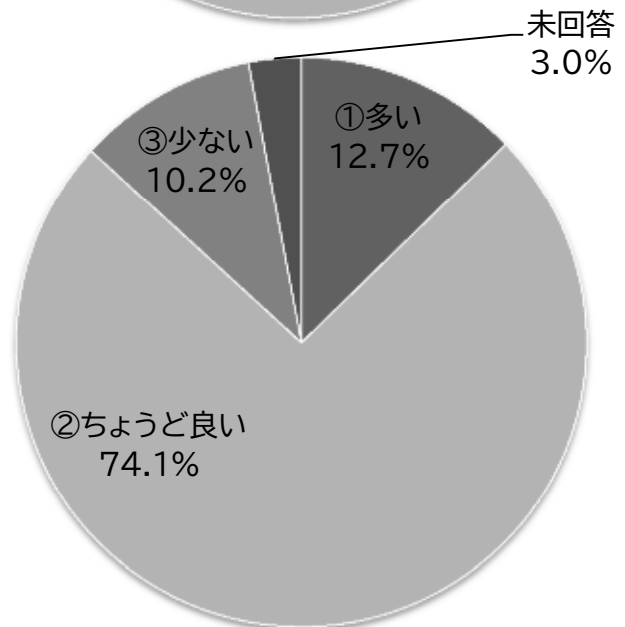
【補助率原則9割】

①多い	21
②ちょうど良い	308
③少ない	62
未回答	10



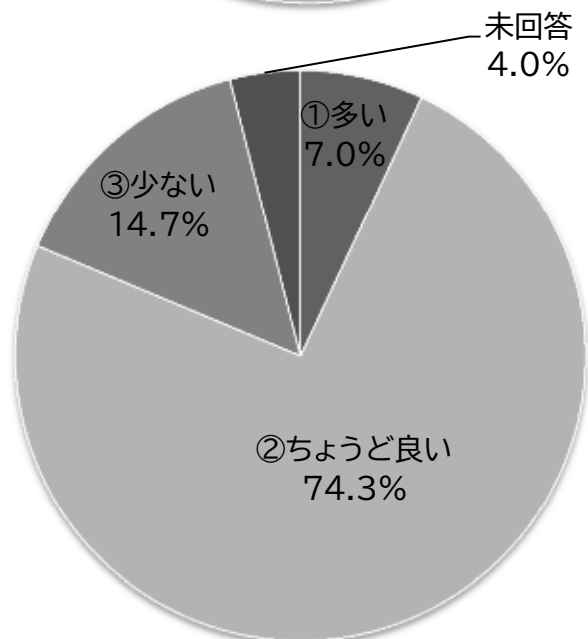
【1団体補助上限100万円】

①多い	51
②ちょうど良い	297
③少ない	41
未回答	12



【地区予算500万円】

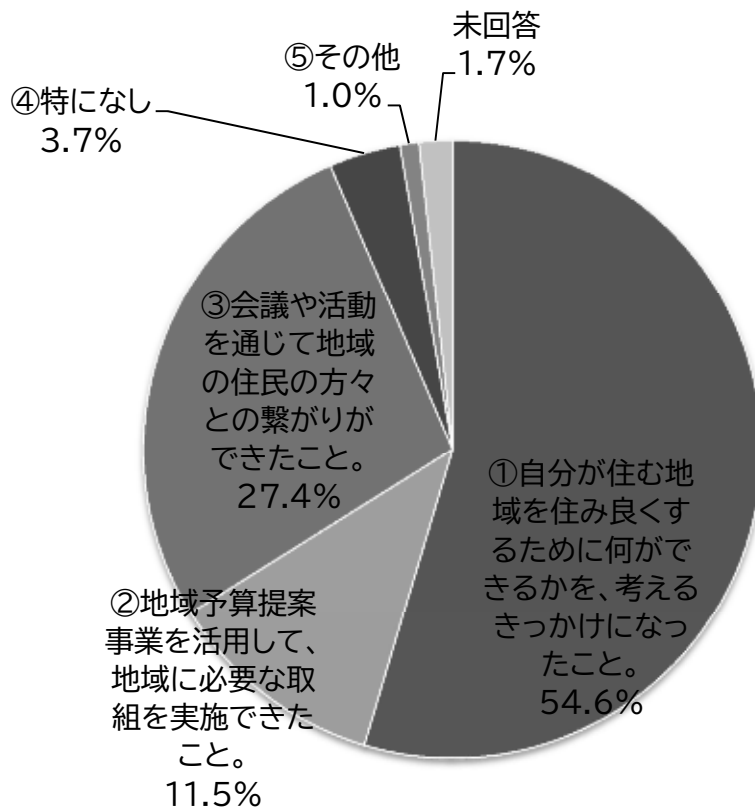
①多い	28
②ちょうど良い	298
③少ない	59
未回答	16



※地域や、団体の性質によるという意見も数件見受けられた。

問14 これまで地域会議に参加してみて、あなた自身が良かったと思うことは何ですか？
あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。

①自分が住む地域を住み良くするために何ができるかを、考えるきっかけになったこと。	219
②地域予算提案事業を活用して、地域に必要な取組を実施できたこと。	46
③会議や活動を通じて地域の住民の方々との繋がりができたこと。	110
④特になし	15
⑤その他	4
未回答	7

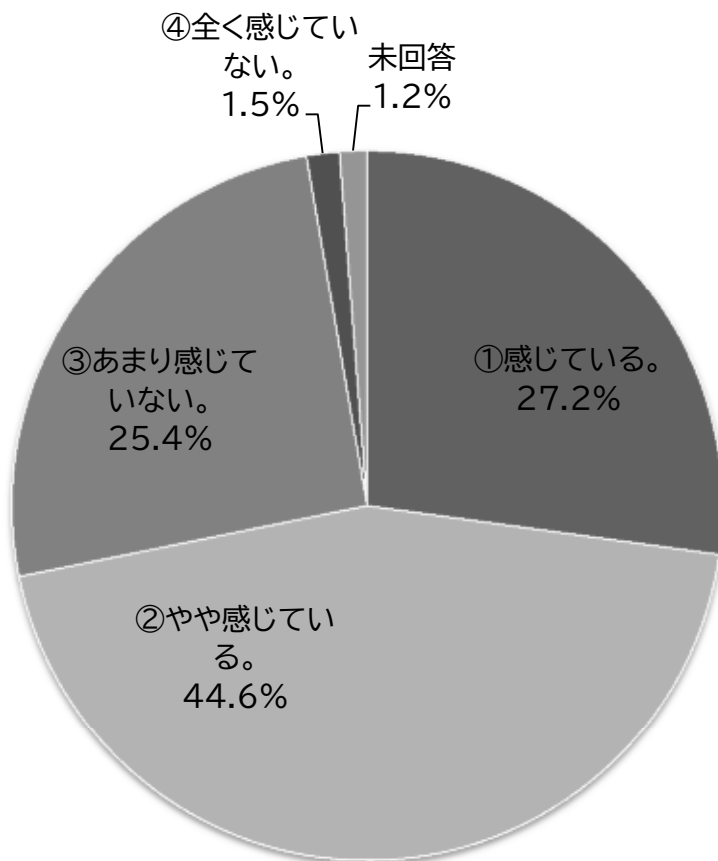


【その他（主なもの）】

- ・自身が地域住民であることを再認識できた

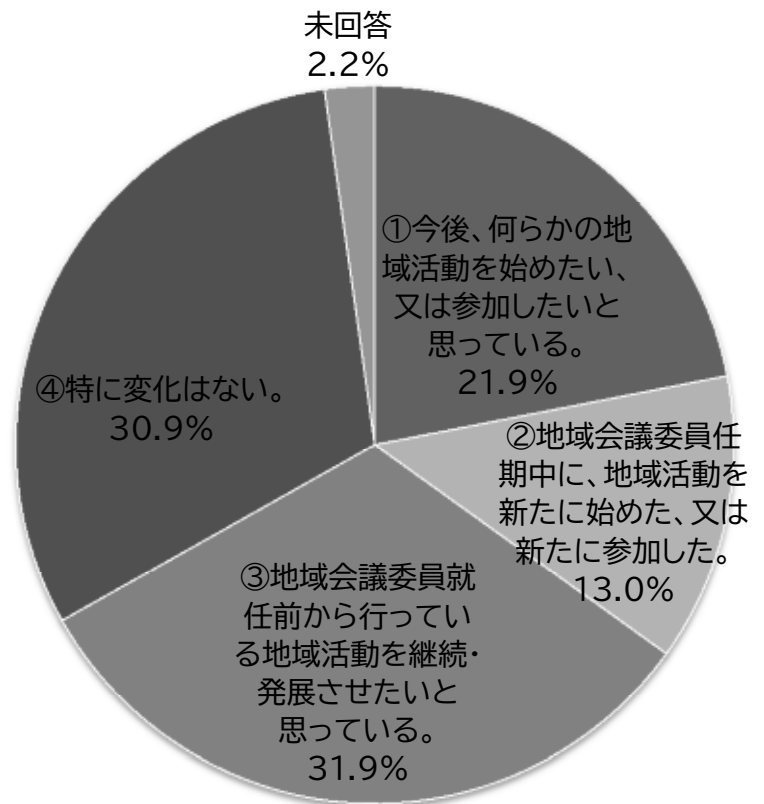
問15 これまで地域会議に参加してみて、あなたは地域会議に対して「やりがい」や「楽しさ」を感じていますか？あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。

①感じている。	109
②やや感じている。	179
③あまり感じていない。	102
④全く感じていない。	6
未回答	5



問16 地域会議への参加をきっかけとし、地域づくりや地域活動に対するあなた自身の心境や行動に変化はありましたか？最も当てはまるものを1つ選んでください。

①今後、何らかの地域活動を始めたい、又は参加したいと思っている。	88
②地域会議委員任期中に、地域活動を新たに始めた、又は新たに参加した。	52
③地域会議委員就任前から行っている地域活動を継続・発展させたいと思っている。	128
④特に変化はない。	124
未回答	9



【具体的な活動内容（主なもの・要約）】

- ・ 自治区活動
 - ・ わくわく事業に申し込む
 - ・ 学校共働本部等、学校のボランティア
 - ・ スポーツの振興
 - ・ 自主防災会等の防災活動
 - ・ 地域内のお助け隊、高齢者世帯の助け合い
 - ・ 交流館ボランティア
 - ・ 地域の居場所づくり（子ども食堂・コミュニティカフェ等）
 - ・ 農事組合活動
 - ・ 民生委員
 - ・ 消防団
 - ・ コミュニティ会議の役員等
 - ・ 地域内の景観、環境づくり
 - ・ 障がい者福祉
 - ・ 高齢者クラブ
 - ・ 氏子会
 - ・ ヘルスサポートリーダー
 - ・ 移住定住の促進
- 等

その他お気づきの点があれば、御記入ください。

※399名中175名が回答。自由記述の内容を要約し掲載。

地域会議の会議体等に関すること

【開催曜日、時間、開催頻度に関すること】

- ・平日夜の会議への参加が難しいと感じている。
- ・土日の日中に開催してほしい。
- ・月1の会議では議論が進まない。 等

【会議の時間不足に関すること】

- ・話し合いの時間が足りず、十分な審議が行えない。
- ・別日で分科会等を開催しないと議論が煮詰まらない。 等

【地域の他団体との連携・団体の効率化】

- ・地域会議、地区コミュニティ会議、地区区長会、コミュニティ・スクール協議会等の機能重複を感じるので統合してほしい。
- ・地域会議と自治区との連携が希薄（制度としての問題）。
- ・まちづくりに関わる人づくりにつながる組織であってほしい。
- ・地域会議と自治区との連携や情報の共有をより緊密にすべき。
- ・地域会議の内容が地域に降りて活かされているとは思えない。
- ・個々の団体との役割分担を明確にし、協力体制をつくる必要がある。 等

【委員の任期に関すること】

- ・全員が2期やるべき。
- ・1年目は勉強の期間のようで、2年はやらないとわからない。
- ・事業は1年では完結しない。毎年新メンバーが加わると前進することが止まることもある。
- ・地域会議の2期4年制限を緩和してはどうか。
- ・長いほうがよいかもしいれないが、きりがないので4年で充分と思う。
- ・地域予算提案事業と連動させるため1期3年に統一すべき（原則1年は認めない）
- ・1期目より地域会議委員が走り始められるような仕組みにしたい。
- ・連続3期にしても良いのではないか。
- ・多くの人たちに地域委員をやってもらい地域の事をわかってもらうのも良いと思う。
- ・メンバーがガラッと入れ替わるとせっかくの話の流れが止まってしまう感じがあった。 等

【年齢・性別・出身母体等の委員構成に関すること】

- ・年代が違ふと必要な事が異なるので年代別の会があると良い。
- ・委員の年齢層が高い。若年層や子育て世代も委員に参加すべき。
- ・地域の役員の方が多く若い方たちが意見や発言を言いにくいのでは。
- ・委員数は、多くても少なくても意見を言わない委員がいる
- ・一部の住民の集まりの地域会議だけで地域のことを決定するのは良くないと感じる。
- ・公募の人が少ない。もっと公募してくれる人が増えると地域会議活動も活発になると思う。

- ・PTA 会長→委員などのあて職も分からないではないが、知らないうちに組織に込みこまれるのはモチベーションに影響すると思う。 等

【自治区長の委員就任や地域会議との連携に関すること】

- ・1年区長が1年で委員を変わらないでほしい。
- ・区長はとにかく大変多忙。地域会議に十分寄与できたとは思えない。
- ・区長や区長経験者をもっと減らすべき
- ・各自治区長の育成を目的とした活動の一環として参加してもらってはどうか。
- ・区長がもっと地域の活動に参加して住民を引っ張ってほしい。 等

【地域間の情報共有の必要性に関すること】

- ・市内の他地区の地域会議の状況（主要課題、体制、運営方法など）を情報提供してほしい。
- ・正副会長会議の有効利用、共通課題の取り組み方や情報交換などを重点に実施してほしい。
- ・他地区との交流会を持ちたい。 等

【地域会議委員の資質向上に関すること】

- ・地域会議委員になる人たちの地域経営のセンスが必要。
- ・地域委員にやらされ感の人も多く見受けられる。 等

【地域会議委員卒業後の活動に関すること】

- ・地域会議OB組織を立ち上げて、地域で活躍出来る場を作ってはどうか。
- ・地域会議委員任期後の地域や自治区での活躍の場が少ない。 等

【支所職員（事務局）に関すること】

- ・会議が事務局主体となっている。
- ・事務局が地域会議の場で多くの提案をしてほしい。
- ・職員の皆さんの努力で成り立っている制度のようにみえる。
- ・もう少し委員に負担をお願いしてもいいのでは。 等

【地域会議制度の広報・PRの必要性に関すること】

- ・地域会議委員が何をしているのかを住民の人々に理解してもらえるような活動が必要
- ・地域会議活動の結果等に対して、地域住民の関心が低い。
- ・委員を引き受けて初めて地域会議のことを知った。
- ・あえて積極的にPRする必要はない。
- ・地域住民（特に若者）に地域会議の存在と変化の可能性について周知してほしい 等

【地域会議委員の費用弁償に関すること】

- ・手当が少額。 等

【地域会議委員の主体性・やりがいに関すること】

- ・もっと地域会議委員が行動する必要がある。
- ・現状では、支所の力がなければ運営できないと思う。 等

【地域会議の設置単位に関すること】

- ・中学校単位では問題点の把握が難しい。
- ・小学校区は、隣同士、身近なたくさんの情報を共有することができる。
- ・テーマによっては狭いほうが良いが、全体で取り組むべきものもある。
- ・運用により、全体で取り組むテーマと小単位で取り組むテーマを実施すれば良い。 等

地域予算提案事業に関すること

【取組テーマや、その選定に関すること】

- ・この地域をどうしていこうかというビジョンがなく対症療法的な話し合いになっている。
- ・地域独自の課題がないと感じている。無理矢理に課題を作っているのでは。
- ・他の行政サービスと重なる部分があると実施ができなくなる。重なってはいけないという合理的な理由がわからない。 等

【地域予算提案事業の予算額に関すること】

- ・不要な地域の予算を必要な地域に回してほしい。 等

わくわく事業に関すること

【わくわく事業のPR・団体の掘り起こしに関すること】

- ・わくわく事業団体がもっと増えるようPRしたい。
- ・わくわく事業の掘り起こしが難しい。 等

【地域会議委員のわくわく事業に対する臨み方に関すること】

- ・審査において、上から目線や細かい指摘や指導が多い。
- ・ムダや不適正が無ければアドバイスや後押し的な方向で審査すべき。
- ・わくわく事業の活動団体（その地域）の見学、視察をもっと地域会議委員にしてほしい。 等

【わくわく事業団体の自立や、補助率に関すること】

- ・良い取組が出来ても収益力がないため、継続できずに終わってしまう。
- ・自立が難しいものもある。短期的な取組・長期的な取組の区分を検討してはどうか。
- ・わくわく事業の自立をめざす基本ルールを明確にすべき。
- ・補助金なので審査査定はより厳格にすべき。
- ・継続が大切な活動もある。
- ・そもそも自立に向かない活動がある。

【わくわく事業の地区の予算に関すること】

- ・わくわくのテーマが多い地区＝頑張っている地域であり、予算を回してほしい。
- ・わくわくの予算、前年または2～3年前の実績に応じた予算配布をしてほしい。 等

【申請の簡素化に関すること】

- ・補助額が少額の場合は申請から完了報告まで書類の簡素化を図るべき。
- ・事務的な大変さで活動を断念してしまう人がいないようにしてほしい。 等

【その他】

- ・わくわく事業に市が推進している元気アップ事業の後継活動をする団体が増えているが、わくわく事業の本来の主旨からずれているような気がする。立ち上げた団体が自立しないなら、その事業の面倒を見ることは元気アップ事業の中で行うべきだと思う。
- ・村祭りは宗教なのか判断が難しい活動がある。郷土伝統文化は村の祭礼に関することばかりで切り離すことはできない。 等

全体を通じて

【地区別の予算に関すること】

- ・地域予算提案事業とわくわく事業との予算を合体した予算組をしてほしい。 等

【地域のなり手不足・高齢化に関すること】

- ・どこでも役員のなり手がなく困っている。
- ・コミュニティ活動が、だんだん下火になってしまっていることを心配している。 等

【地域会議委員の経験に関する好意的意見】

- ・委員となったことで、地域の現状や課題がわかってよかった。
- ・この地域で生まれ育った者ではないが、地域会議に参加し地元の方々と交流を持てた。
- ・「やらされた感」ではじめたが、損な事はなかったと感じている。
- ・様々な団体を知り、関わりをもてたことが良かった。
- ・4年間（1期2年）は最初は長いと思ったが、あっという間だと感じた。
- ・様々な人に委員を経験してほしいと思った。 等

【地域自治システムの見直しについて】

- ・各制度については、賛成・共感しているため、予算など削減することなく継続してほしい。
- ・制度全体にフレキシビリティを持たせるべき。今は縛りがきついと感じる。
- ・地域会議委員のあるべき姿について、委員同士で議論する機会が欲しかった。
- ・是非ともアンケートを基に、柔軟に改善してほしい。
- ・合併した地域の活性化という観点を含め、市としてどういう方向に進むべきか、その時各地域はどうすべきかを論じる場としてほしい。 等

＜クロス集計＞

※単純集計と比較し、特色あるもののみ掲載。内訳と人数については以下のとおり。

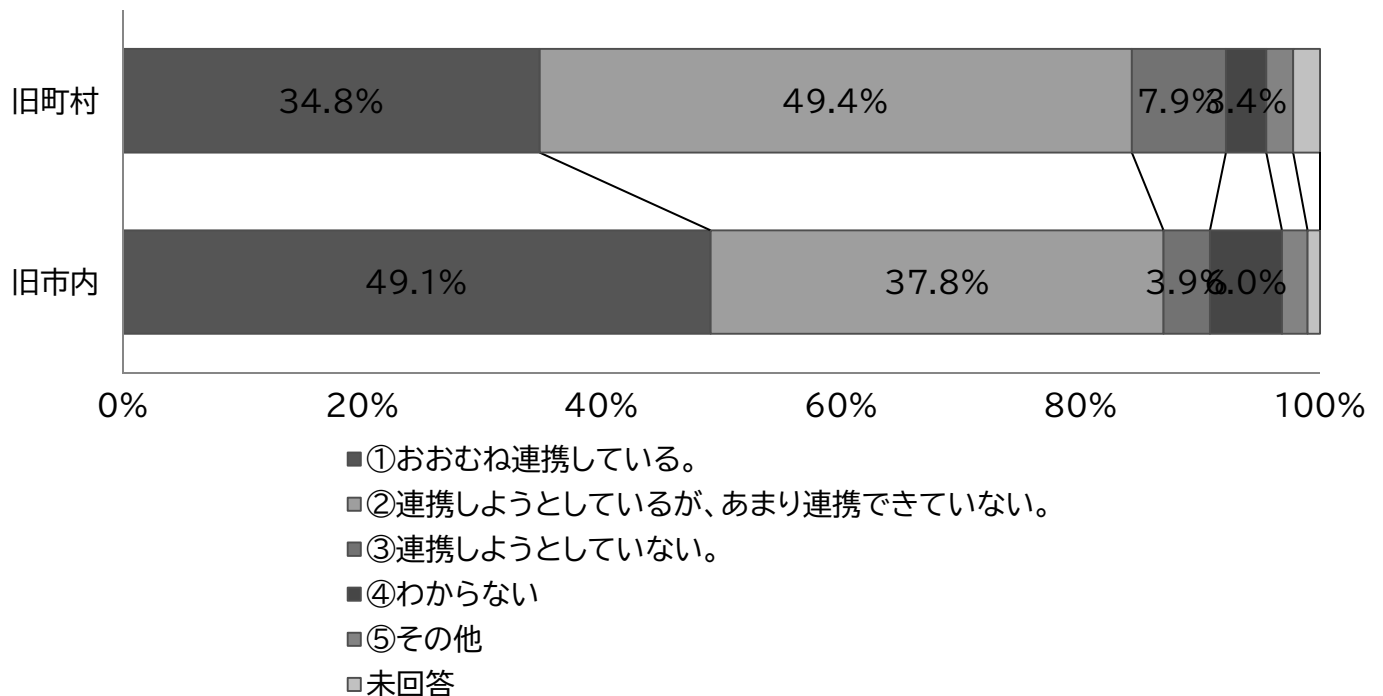
＜地域＞

旧市内（283名）	上郷・猿投・高岡・高橋・松平・拳母管内の地域会議
旧町村（89名）	旭・足助・稲武・小原・下山・藤岡管内の地域会議

＜期数＞

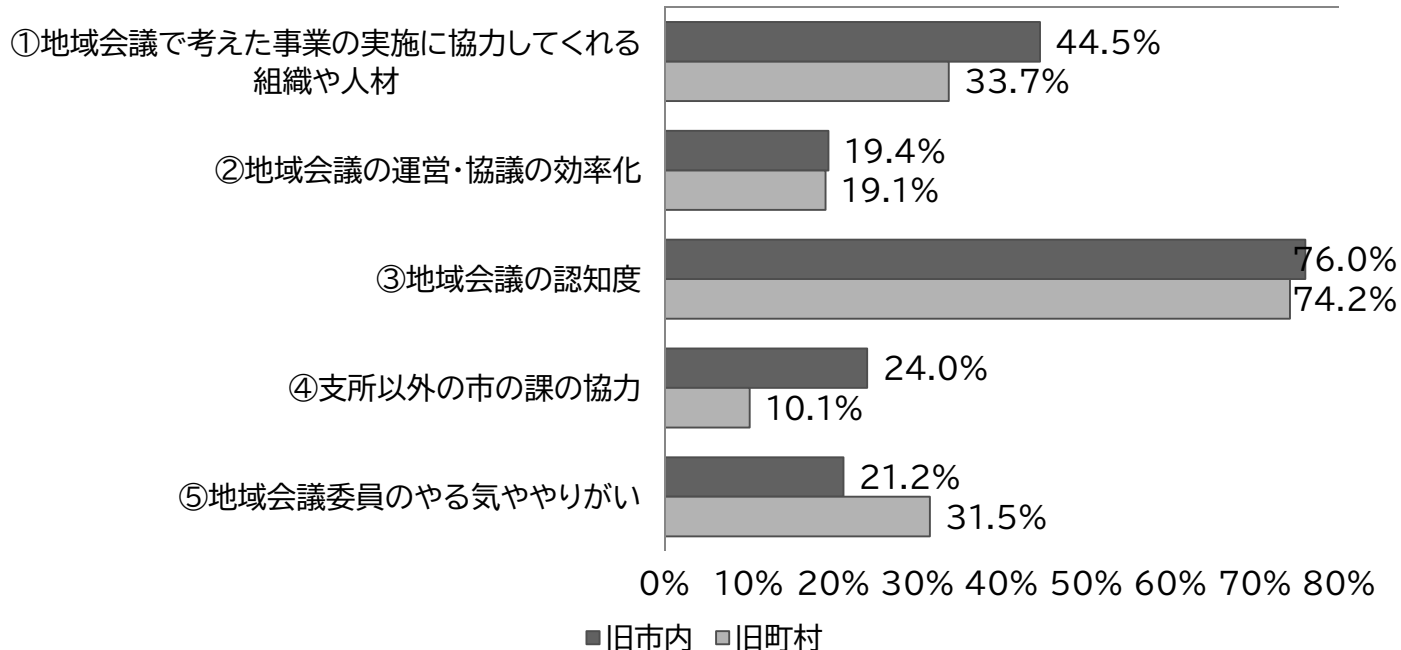
1期目（230名）	1年目又は2年目の委員
2期目（163名）	3年目又は4年目の委員

問6 地域会議が活動する上で、地区コミュニティ会議や自治区等の地域の団体との連携は、必要不可欠ですが、あなたの地域では、連携が行われていると感じますか。
あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。



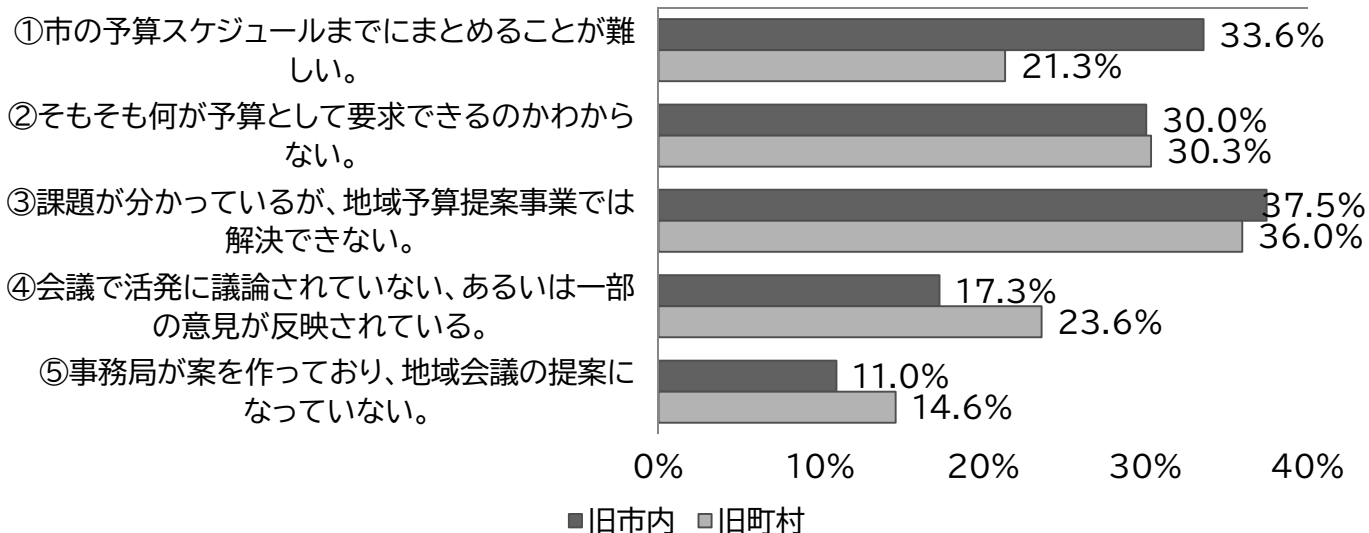
・旧市内エリアの地域会議委員のほうが、地域の諸団体と連携できていると感じている傾向が強い。

問7 地域会議が、協議等をする上で、足りていないと感じるものはありますか。
あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。



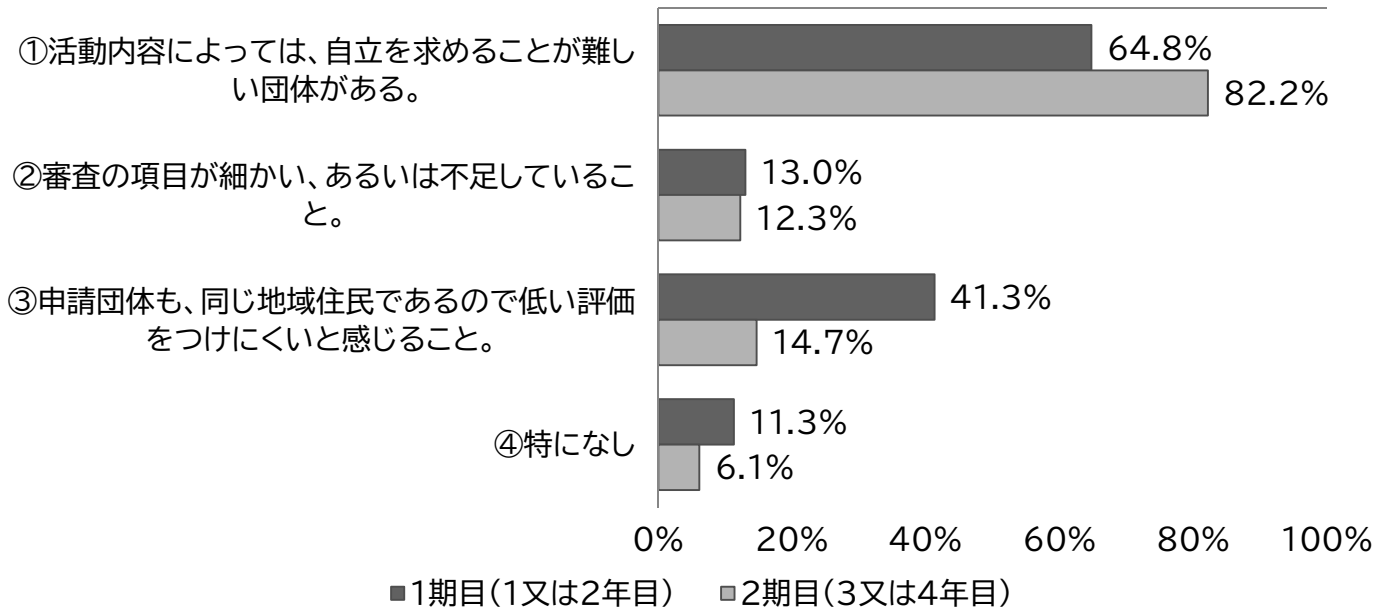
・旧市内エリアの地域会議委員は「①」「④」など、地域会議外の協力者について課題を感じている傾向が、旧町村エリアより強い。

問9 地域予算提案事業を協議検討する上で、難しい（又は不満）と感じることはありますか。
あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。



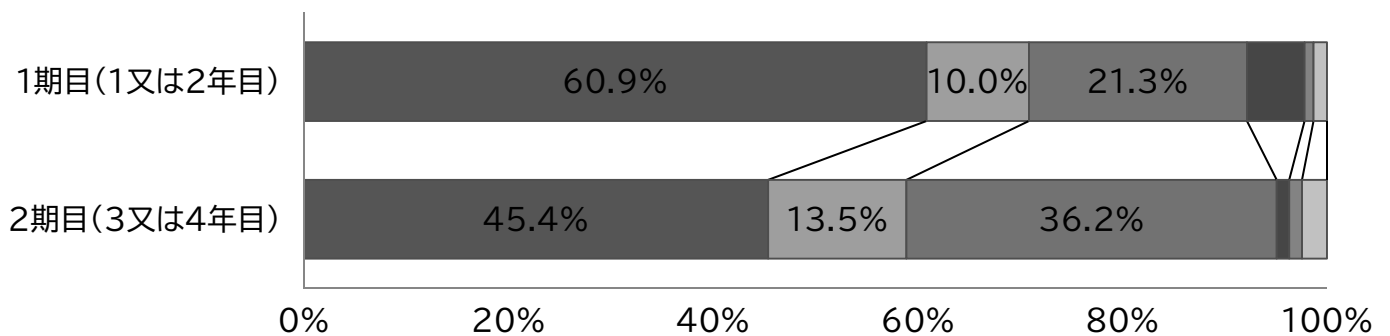
・旧市内エリアの地域会議委員のほうが「①予算編成スケジュール」に課題を感じている。

問12 わくわく事業の審査をする上で、難しい（又は不満）と感じていることはありますか。
あなたの考えに当てはまるものをすべてお答えください。



・2期目の地域会議委員のほうが、団体にどのように自立を求めるべきか課題を感じている（＝「①」）。

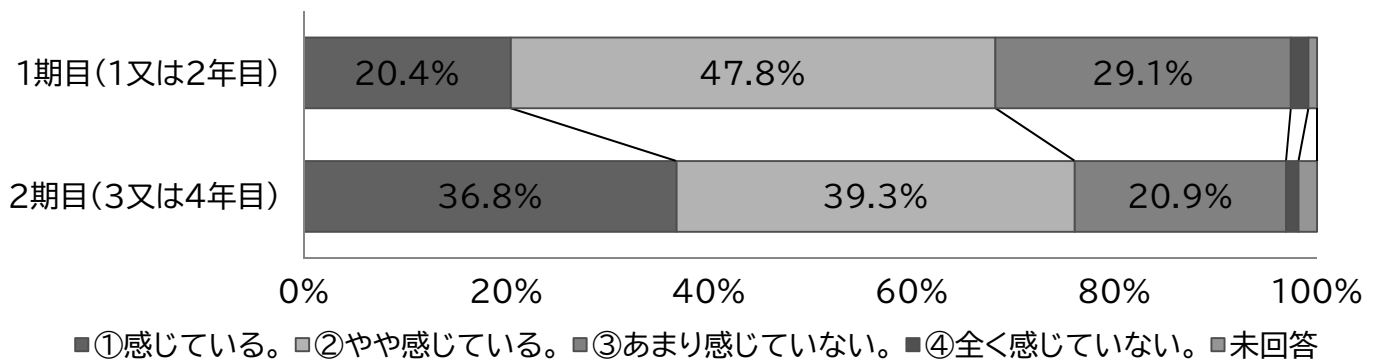
問14 これまで地域会議に参加してみて、あなた自身が良かったと思うことは何ですか？
あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。



- ①自分が住む地域を住み良くするために何ができるかを、考えるきっかけになったこと。
- ②地域予算提案事業を活用して、地域に必要な取組を実施できたこと。
- ③会議や活動を通じて地域の住民の方々との繋がりができたこと。
- ④特になし
- ⑤その他
- 未回答

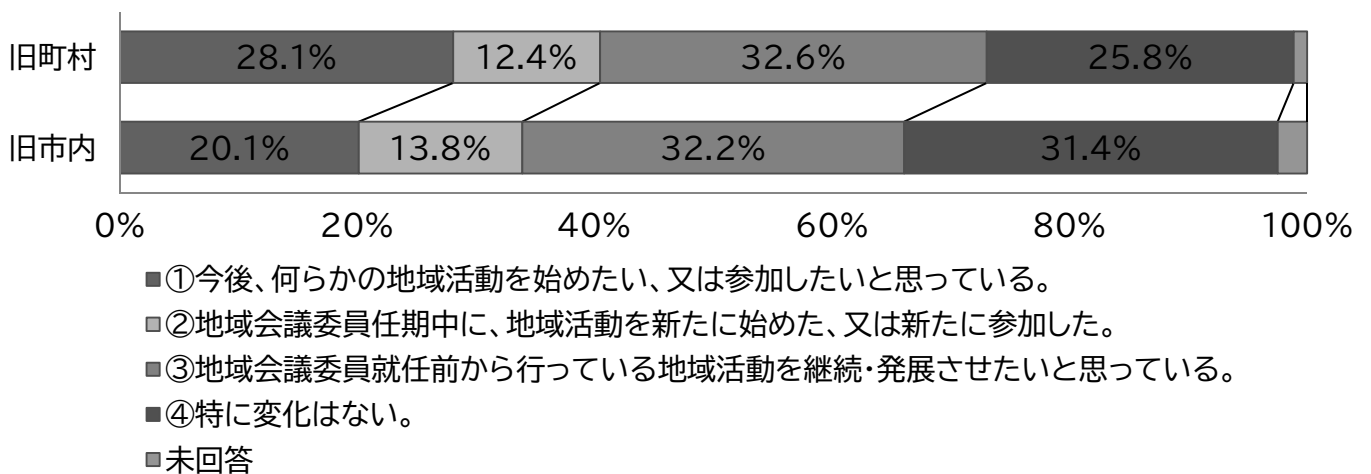
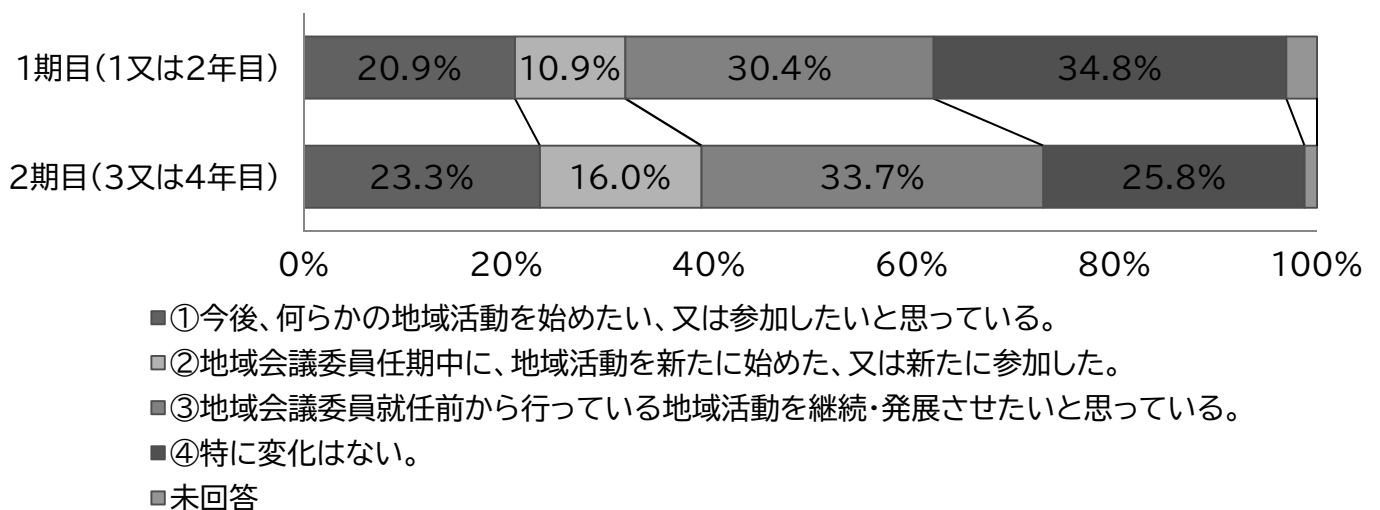
・1期目の地域会議委員は、「①」＝自らの地域のことを考えるきっかけになったと感じている傾向が強い。
・2期目の委員は、「③」＝地域とのつながりができたと感じている傾向が強い。

問15 これまで地域会議に参加してみて、あなたは地域会議に対して「やりがい」や「楽しさ」を感じていますか？あなたの考えに最も当てはまるものを1つ選んでください。



・2期目の委員のほうが、「やりがい」や「楽しさ」を感じている傾向が強い。

問16 地域会議への参加をきっかけとし、地域づくりや地域活動に対するあなた自身の心境や行動に変化はありましたか？最も当てはまるものを1つ選んでください。



・2期目の委員のほうが、今後も地域活動に関わる意志が強い傾向にある。
 ・旧町村エリアの委員のほうが、今後も地域活動に関わる意志が強い傾向にある。

**第7期地域会議委員 アンケート調査
集計結果**

**令和2年3月6日発行
発行：豊田市地域支援課**